

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H27-6号)

平成27年7月14日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成27年7月13日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は下記のとおりです。

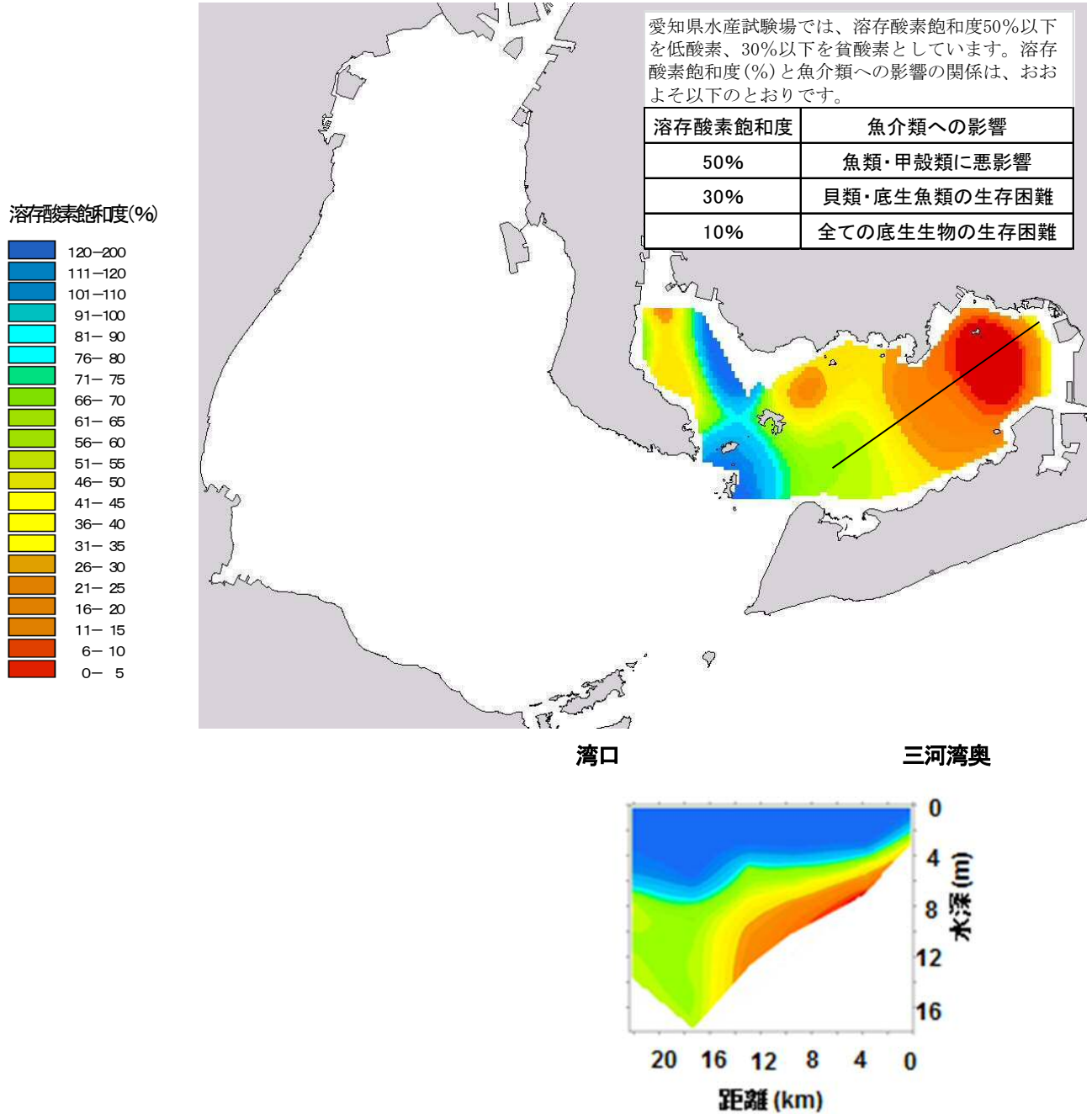


図1 三河湾(7月13日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)
(愛知県「へいわ」調査)

三河湾

7月13日の調査結果を図1に示しました。前回調査(7月2、3日)では貧酸素水塊はみられませんでした。今回の調査では渥美湾東部は広い範囲で、渥美湾西部や知多湾では一部の海域で貧酸素水塊が確認されました。

自動観測ブイ1号(蒲郡沖)のデータを見ると表層では植物プランクトンが多く溶存酸素飽和度(DO)が高い状態ですが、底層では貧酸素水塊が発達している状況です。また、表層では降雨の影響による塩分が低下しており、表底層の塩分較差が大きくなっている様子が観測されました(図2)。

今後は、台風の影響により海水が混合し、一時的に貧酸素水塊の規模が縮小すると考えられますが、その後は再度、貧酸素化が進行すると思われます。

	水温(°C)		塩分	
表層	23.9	~ 28.5	12.8	~ 29.6
底層	19.2	~ 26.2	24.5	~ 32.8

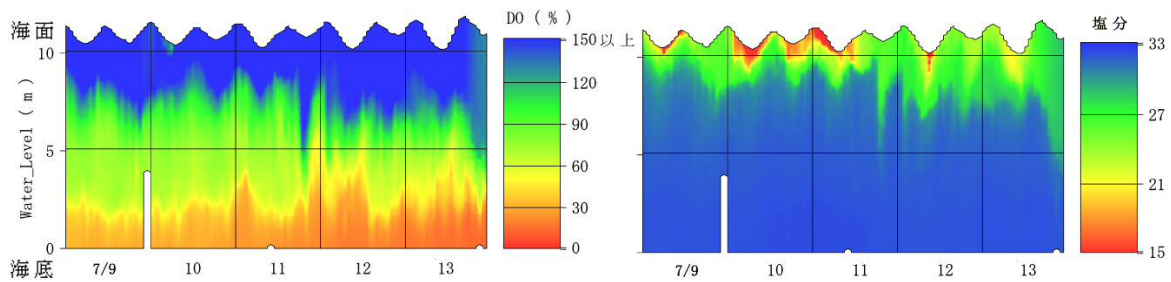


図2 溶存酸素飽和度(左図)及び塩分(右図)の経時変化(自動観測ブイ1号)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

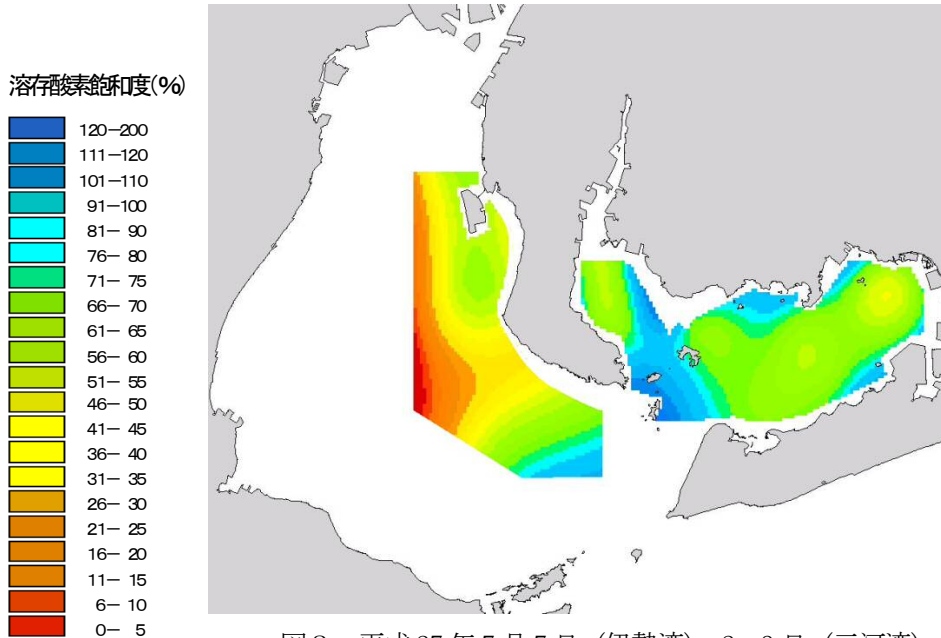


図3 平成27年7月7日(伊勢湾)、2、3日(三河湾)